

審 議 経 過

NO. 1

- ◆ 辞令交付式
 - ・ 市長あいさつ
 - ◆ 第1回審議会
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 職務代理者の指名
 - ・ 尾形会長が1号委員の松尾伸人委員を職務代理者に指名。
 - 4 審議
 - ・ 審議会の概要説明
 - ・ 委員15名中、10名出席。過半数の出席により本審議会は成立。
- (1)「伊万里市人権教育・啓発に関する基本方針」推進計画に係る具体的施策の進捗状況について
- 資料1、資料1－2に基づき事務局より説明
- ・ 令和元年度に第二次改訂を行った「伊万里市人権教育・啓発に関する基本方針」について説明した後に、令和6年度の推進計画に係る具体的施策の推進状況について、令和2年度以降を比較しながら説明した。
 - ・ 令和6年度の実績評価の概要
 - A 1 312件、A 2 57件、A 3 8件、B 2件、C 2件、D 11件、E 2件
 - ・ 令和2年度～5年度はコロナ禍の影響を受けたが、その後は着実に達成率も上がり、具体的施策の推進が進んでいる。
- 質疑
- 〔委員A〕
- ・ 事前質問・意見 No.3 2 同和問題 市民意識調査の定期的実施
 - ・ 2021年に佐賀県の意識調査が行われたが、伊万里市と佐賀県の設問では比較や検証ができない。県と比較できるよう設問を同じようにしていただきたい。
- 〔生涯学習課〕
- ・ 議題（3）の人権・同和教育に関する意識調査についての項目の説明とあわせて回答させていただきたい。
- 〔委員B〕
- ・ 事前質問・意見 No.2 2 0 外国人に関する問題 市内の主要施設や観光についての情報の提供
 - ・ 評価Bこれから実施とは、どういう実施をされていくのか。
 - ・ 外国人に対する情報発信ができていないのではないかと。丁寧な説明をして、マナーを守ってもらい、また伊万里に行きたいなと思っていただけるような観光地にしていただきたい。
- 〔地域づくり課〕
- ・ 情報出版サービスはシティプロモーション推進課が担当しており、地域づくり課と役割分担をするのが効果的だと考えている。

審議經過

NO. 2

- ・在留外国人が増加しており、県の国際交流協会のパンフレット等を活用して出前講座を実施したりしている。
- ・この実績評価については、書き方を検討する必要があると考えている。

〔会長〕

- ・評価の仕方、事業をやっているのに、これから計画ですよ、実施ですよと書いてあるところに問題があるのではないか。

〔委員 C〕

- ・佐賀県人権施策基本方針が昨年策定され、今年は国の基本計画も見直しされていると聞いている。社会情勢の変化を踏まえて、伊万里市の基本計画の見直しの予定はあるのか。

〔事務局〕

- ・直近の改訂が令和元年、その前が平成１９年で約１０年ぐらいで改訂を行っている。何年おきに改訂するという定めはないが、他市の状況を見ながら今後検討していきたい。

(2) 伊万里市における人権・同和対策関連事業の取り組みについて

資料 2 に基づき事務局より説明

- | | |
|-------------------------------|------------|
| ①「同和問題啓発強調月間（８月）」の啓発活動 | (人権・同和対策課) |
| ②「人権週間（１２月４日～１０日）」の啓発活動 | (　　　〃　　　) |
| ③人権啓発活動再委託事業 | (　　　〃　　　) |
| Ⅰ．令和７年度「人権の花」運動 | (　　　〃　　　) |
| Ⅱ．ハートフルフォーラム2025in伊万里 | (　　　〃　　　) |
| Ⅲ．令和７年度「伊万里じんけんシアター」 | (　　　〃　　　) |
| Ⅳ．同和問題講演会 | (生涯学習課) |
| ④「新しい生活様式」に適応する『新たなスタイル』の住民啓発 | (　　　〃　　　) |
| ⑤『従来のスタイル』の住民啓発 | (　　　〃　　　) |
| ⑥インターネットモニタリング | (人権・同和対策課) |

□ 質疑

〔委員A〕

- ・ 8月の同和問題強調月間、12月の人権週間にケーブルテレビで特別番組を放送するとのことだが、YouTubeに掲載しないのか。
- ・ 今、若い世代はテレビではなく、スマホでYouTubeばかり見ている。YouTubeに載せた方が若い人に勉強してみようとか言いやすくなるのではないか。

〔生涯學習課〕

- ・時間が１０分程度と少々長編でYouTube等になじまない。
- ・啓発イベント情報をSNS上にアップロードして揚げ足を取りディスするという悪質な行為が横行しており、安全性も考慮して、ケーブルテレビに軸足を置いて展開していきたいと考えている。

審 議 経 過

NO. 3

〔委員 C〕

- ・ 3 点おたずねしたい。1 点目は、モニタリングについて、差別事象の多いサイトを可能な範囲で教えていただきたい。
- ・ 2 点目もモニタリングに関して、人権侵害にあたる書込みとはどのようなものがあるのか教えてほしい。
- ・ 3 点目は、ベトナム人技能実習生の殺人事件の件で、市民の意識、偏見の目がないか、今後の啓発についておたずねしたい。

〔事務局〕 差別事象の多いサイト、書込みについて

- ・ 県のやり方を参考にモニタリングを実施しており、県と同じサイトをモニタリングしている。ただ、サイト自体が差別的なものではなく、あくまで差別事象の書き込みが多いサイトと厚っていたきたい。
- ・ 差別事象というか、ネット上でひどい言葉で言い争っていたり、内容的には悲しくなるようなものがある。具体的に伊万里市とつながる差別事象的なものは発見していないが、ひどい内容のもので県へ情報提供したものはいくつかある。

〔生涯学習課〕 差別事象の多いサイトについて

- ・ 生涯学習課では、特定の掲示板以外に、独自のサイトに範囲を広げ調査をしている。確信犯的な差別主義者と思われるグループが運営する、X やブログを張込みで監視している。

〔事務局〕 殺人事件について

- ・ 市民の方には市民相談室があるので丁寧に対応していく必要がある。
- ・ 外国人の方については、地域づくり課に相談窓口を設けているが、外国人との共生に肯定的な方、一方で否定的な方の双方の意見がある中で、どこまで積極的にお知らせしていくか難しい。
- ・ オーサム伊万里という地域交流の委託事業を行っており、活動を通して偏見等の気持ちが解消され、外国人、日本人が安心して暮らせる地域社会につなげていきたい。

〔事務局〕 殺人事件について

- ・ 今回の事件と外国人の問題は本来別の問題であって、今回の事件では動機がはっきりしていないところが一番の問題で、市民の方も不安に思われている。
- ・ 技能実習生の方が各企業に勤め地域の中で生活をされており、不安の解消がまず大事であり、行政も地域の方と一っしょに対応を考えていきたい。
- ・ 遺族の方への物心両面でのサポートを一番に考えている。
- ・ 先日の市長の定例記者会見の内容が外国人だけにスポットをあてたように放送がされ、市長は外国人のことだけを厚ているのかと、批判の電話等が厚ている。
- ・ 市民の不安を払拭できるよう皆さんからも提案があれば、検討して実践していきたい。

審 議 経 過

NO. 4

（3）人権問題に関する市民意識調査について

資料 3－1、資料 3－2 に基づき事務局より説明

（生涯学習課）

- ・ 5 年ごとに実施、今回 7 回目、無作為で抽出した 18 歳から 80 歳未満の男女 2,000 人が対象、郵送による回収と LoGo フォームでの回答受付を予定している。
- ・ 前回令和 2 年度の質問数 23 項目と大体同じ程度を考えている。調査票を読むだけで啓発につながるように工夫し、回収率も前回を上回るようにしたい。

□ 質疑

〔委員 A〕

・ 事前質問・意見

・ 意識調査は比較検討できた方がよい。同和問題の認知について、県は高校生の年代も入っているが、伊万里市は入っていないので、授業でどのように取り扱われているのか見えてこない。また、インターネット上の差別についても詳しく聞いていただきたい。

・ 部落差別を知らない年代が増えている。インターネット上の差別についても、何が差別にあたるのか、そういうところも聞いていかないといけない。

・ 伊万里市の意識調査は県にはないいいものもあるので、県との比較と合わせて前回とも比較できるようにしてほしい。

・ 付け加えて、昨日の市長の記者会見は非常によかった。誤情報がどんどん拡散されていく中、外国人全てが悪いわけではないということを分かってもらうことも必要。

〔生涯学習課〕

・ 意識調査については、啓発効果、信頼性のある回答確保の 2 つをコンセプトに準備を進めている。

・ ご助言をいただきありがとうございます。素案ができた時点でアドバイスをお願いしたい。

〔委員 D〕

・ 市民意識調査について、デジタルでの回答はされないのか。

〔生涯学習課〕

・ 従来の郵送方式に加え、調査票に LoGo フォームを添えてデジタル方式で回答いただく、ハイブリッドで実施したいと考えている。

〔事務局〕

・ LoGo フォームとしていますが、市のホームページで回答ができるということです。

（4）その他

□ 意見等なし

5 閉会